

「土佐清水市教育研究集会・社会科部会研修会」 講話演題「中浜万次郎の探求学習のためのヒント」

講師：市史編さん室・田村公利

8月2日(水)は、午前中は中央公民館で全体研修、午後からは各部会研修があり、市内小中学校の教職員の皆さんは汗を流して研修に取り組まれた。

市史編さん室も、14：45～16：00の時間に社会科部会の依頼を受けて「中浜万次郎の探求学習のためのヒント」と題して講話を行った。部会研修には社会科部会の教職員10名の外に、清水高等学校から全日制教頭上岡正紀先生、定時制教頭中平泰洋先生をはじめ6名の参加があった。また、教育の魅力化推進コーディネーター岡村相良先生、ヤングケアラーコーディネーター中野史也先生にもご参加いただき、市史編さん室田村と吉本を含めて20名の参加者で盛会となった。

講話では、はじめに6月4日「沖縄ジョン万次郎会」に招聘され、万次郎の講話を行ったことや、万次郎上陸の地・小渡浜海岸及び万次郎の滞在宿所高安家について説明した。続いて、万次郎のライフステージをⅠ少年期(生誕～鳥島漂着)0～14歳・Ⅱ米国及び船上での生活期(救助～沖縄上陸まで)14～24歳・Ⅲ帰国後の活躍期(沖縄上陸～脳梗塞発症まで)24～44歳・Ⅳ老後期(脳梗塞発症～逝去)44～71歳の5期に分けた。

万次郎を捉える視点として、①「生死」の中で万次郎を捉えること、②児童生徒にはまず人生の概観をしっかりと捉えさせることが必要であることを示した。「木を見て森を見ず」という譬えがある。就学前や小学校時代は、教育委員会が発行した紙芝居や副読本を通して万次郎の人生の概観をつかむことが大事である。中学校・高等学校時代は、就学前や小学校時代におさえた概観を基にしてより適切な課題設定をしていくことが必要である。そして、課題に沿いながらより細かな調べ学習を進めることにより、深い探求学習が確実に実施できると考える。その際に、断片的な根拠となる事項を集積しながら、点と点を繋ぎ合わせ、これを基に新たな万次郎像を発見し、その実像に近づくことができるのではないだろうか。



「Ⅱ 米国及び船上での生活期（救助～沖縄上陸まで）14～24 歳」と「Ⅲ 帰国後の活躍期（沖縄上陸～脳梗塞発症まで）24～44 歳」の歴史事項をカードにして、それぞれ時系列に並べ替える演習を行った。それぞれのカードを以下に掲載する。

演習 1 【Ⅱ 米国及び船上での生活期(救助～沖縄上陸まで)14～24 歳の演習】 9 枚のカード

樽屋に弟子入り フランクリン号 ステイグリッツ号 カリフォルニア金山へ

サラ・ボイド号 ジョン・ハウランド号 オックスフォード・スクール

バートレット・アカデミー アドベンチャー号

演習 2 【Ⅲ 帰国後の活躍期（沖縄上陸～脳梗塞発症まで）24～44 歳の演習】 10 枚のカード

江川太郎左衛門の配下 咸臨丸へ 小笠原開拓調査と捕鯨 ホーツン事件 欧州視察

開成学校教授 鹿児島開成所教授 英米対話捷徑 捕鯨方法を伝授に箱館へ

ボーディッチ航海書の翻訳

演習 1 の解答

ジョン・ハウランド号（1841、14 歳）→オックスフォード・スクール（1843、16 歳）
→バートレット・アカデミー（1844～45、17～18 歳）→樽屋に弟子入り（1846、19 歳）
→フランクリン号（1846～49、19～23 歳）→ステイグリッツ号（1849、22 歳）
→カリフォルニア金山へ（1849、19 歳）→サラ・ボイド号（1850、23 歳）
→アドベンチャー号（1851、24 歳）

演習 2 の解答

江川太郎左衛門の配下（1853、26 歳）→ボーディッチ航海書の翻訳（1857、30 歳）
→捕鯨方法を伝授に箱館へ（1857、30 歳）→英米対話捷徑（1859、32 歳）
→咸臨丸（1860、33 歳）→小笠原開拓調査と捕鯨（1862～63、35～36 歳）
→ホーツン事件（1863、36 歳）→鹿児島開成所教授（1864～67、37～40 歳）
→開成学校教授（1869、42 歳）→欧州視察（1870～71、43～44 歳）

演習をして感じたことは、天保 12 年(1841)1 月 7 日に遭難した 5 人の名前、ハワイに永住した人（寅右衛門）、ハワイで亡くなった人（重助）、万次郎と帰国した人（伝蔵、五右衛門）などの名前や動向が曖昧な状況もありました。探求学習を児童・生徒に指導する前に、まず指導者である先生方自身が万次郎の伝記を一読することが第一です。中濱博『中濱万次郎—「アメリカ」を初めて伝えた日本人—(富山房インターナショナル)』(税込 3,008 円)を一読することをお勧めします。ジョン万次郎資料館(土佐清水市養老)で販売しておりますので、是非ご購入してざっと読んでみてください。また、鈴木典子『池道之助日記—現代語訳—(リーブル出版)』(税込 1,650 円)も関係書籍として販売しています。ご利用ください。

(参考文献)

- ・中濱博『中濱万次郎—「アメリカ」を初めて伝えた日本人—』富山房インターナショナル、2005 年。※今回の研修会教材については、株式会社富山房インターナショナルの許可を土佐清水市教育委員会が得て使用していることを申し添えます。